



日本共産党 京都市会議員
ひぐち英明
議会報告

ホームページ <http://www5f.biglobe.ne.jp/~higuchi/>

みなさんのご意見・ご要望をお寄せください!

こんにちは ひぐち英明です

第232号 2013年6月1日 連絡先：日本共産党左京地区委員会 TEL761-6341
：左京生活相談所 TEL781-6622

～5月議会・代表質問から～ 市原・頼光橋付近の対策が始まる



5月19日、5月市会の代表質問に立ち、市原の防災対策について質問しました。

■ 防災対策としての森林整備を

昨年7月の豪雨で、市原は山からの水で被害が多数発生しました。水害が繰り返されていた箇所や、昨年初めて被害が出た箇所など、状況は様々ですが、全体として

は、周囲の山に整備の手が入らないまま、荒れてしまっていることに大きな原因があります。林業振興という点での、間伐や、林道・作業道への補助の仕組みがあります。しかし、市原のように、多くの市民が住んでいて、なおかつ山がすぐ近くにあるような地域は、従来の補助制度では対応できていません。そこで私は、「防災の観点からの山の保全対策として、特別な手立てを講じるべき」と質しました。

答弁では、森林が貴重な財産であると言ったものの、「いっそう森林整備に力を入れる」という範囲にとどまりました。

■ 国・府と連携しての水害対策を

また、水害を起こした箇所には、国有林が含まれていること、さらに土砂災害防止用のえん堤は京都府の事業であることを指摘し、国・府にも働きかけを強めるよう求めました。この点は「国や府に対して、あらゆる機会を通じて働きかけていく」と積極的な答弁でした。

■ 頼光橋付近の対策が前進

頼光橋付近の道路冠水、および付近の住宅への浸水被害については、2004年にも同様の被害が起こって以来、何度も繰り返し被害が引き起こされています。地元のみなさんと一緒に、私も何度も京都市に改善を求めてきている場所ですが、今年の3月にはやっと仮設の水路が設置されました。質問の中で私は、下水管の工事を念頭に、「根本的な対策が早急に求められる」と質しました。この点は、「今年度早期に新たな雨水管きよ（下水管）の整備工事に着手する」との答弁で、対策が後手に回っていたところでしたが、やっと工事が始まるということになりました。

市原の災害対策は、自治連をはじめ、地元のみなさんが繰り返し対策を求めてきた課題です。引き続き、みなさんと一緒に取り組みを強めていきたいと思えます。

日本共産党大演説会 みやこめっせいっぱいの人人人・・・

みやこめっせいで日本共産党大演説会が行われ、会場いっぱいの人で盛り上がりました。

倉林明子参議院京都国政委員長と、井上さとし参議院議員・国会対策委員長の訴えの後に志位和夫委員長が話しました。



訴える倉林明子さん



京都原水協総会開かれる



原水爆禁止京都協議会の総会に出席しました。

4月に行われた国連の会議に合わせて、核兵器全面廃絶を訴える「核兵器の人的影響

に関する共同声明」が、74か国の共同で発表されました。ところが安倍政権はこの声明にも加わることを拒否。被爆国としてあるまじき対応です。

○ ひぐち英明 ホット・コム ミニ版 ○

後援会恒例の阪神観戦ツアーに長男（中学1年）は行きたがっていましたが、中学校の部活（吹奏楽部）があり、参加できませんでした。

試合は逆転サヨナラの阪神勝利で、参加者は大興奮。試合直後に長男から携帯に電話が入り、「いいなあ、おれも行きたかったなあ」とのこと。家に帰ってから何度もつばやかれました。